

2008
年度

ご報告

Circle

たいせいサークル



聖徳記念絵画館 1926年竣工 東京都新宿区 (社史探訪:12ページ)
表紙イラスト/藪野健

大成建設株式会社



経営理念

人がいきいきとする環境を創造する

CONTENTS

- 1 経営理念・目次
- 2 株主の皆様へ
- 3 連結財務ハイライト
- 5 受注・完成工事ご報告
- 7 TAISEI NOW
- 11 大いに成るほど～「素朴な疑問」
- 12 社史探訪―表紙は語る
- 13 会社の概要
- 14 株式情報



株主の皆様におかれましては平素よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

金融危機が実体経済に与えた影響は想像以上に大きく、世界経済は景気後退局面に入り、2008年度の日本経済はマイナス成長に陥りました。

建設市場については、国内は公共投資が引き続き減少し、民間建設投資も2008年末から輸出関連企業を中心に設備投資が事実上ストップしたことを受け減速感が強まりました。

また、海外建設市場は、景気低迷・金融不安に伴う資金調達コストの上昇の影響を受けて投資が減少しました。

当社におきましても、これまでの中期経営計画(2007～2009年度)において前提としていた国内外の事業環境が激変したため、最終年度の目標達成は不可能と判断し、中期経営計画(2007～2009年度)を2008年度末で打ち切り、新たに2009年度を初年度とする中期経営計画(2009～2011年度)をスタートさせます。

今後、建設需要が大きく減少すると見込まれることから、市場縮小下における利益確保が当社およびグループの課題であると認識しております。当該計画においては「海外事業の再構築」「入手時リスク管理の徹底」「事業における選択と集中」「生産システムの改善」「財務体質の強化」を対処すべき課題として掲げ、施策を実施することで、2009年度は連結営業利益330億円の目標達成を目指してまいります。

なお、当社は長期的な安定配当を基本方針としておりますが、2008年度に当期純損失を計上し株主資本が大きく毀損することから、誠に遺憾ながら資本充実を図るべく1株当りの普通配当を1円減配し、当下半期の配当金は1株につき2円とさせていただきます。また、業績不振・減配という不本意な結果を真摯に受け止め、経営責任を明確にすべく、取締役および執行役員報酬を2009年4月から6カ月間30%返上いたします。

建設業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増していくものと思われませんが、株主の皆様におかれましては今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山内隆司

連結財務ハイライト (連結子会社36社 持分法適用関連会社8社)

■ 営業の概況

日本経済は、世界の需要急減により新規の設備投資が大きく減少し、雇用および将来への不安により消費も低迷したため、年度後半から大幅なマイナス成長に転じました。

国内建設市場は、昨年末から工事の延期・凍結・中止が相次いでおり需要が剥落した状態となりました。

海外建設市場は、各国が掲げる景気浮揚に向けた大規模な公共投資の効果が未だ限定的であることから、建設投資は景気低迷・資金調達コスト上昇の影響を受けて大きく減少しました。

このような厳しい事業環境下において当社グループは中期経営計画(2007~2009年度)に基づき目標達成に取り組みましたが、以下の結果となりました。

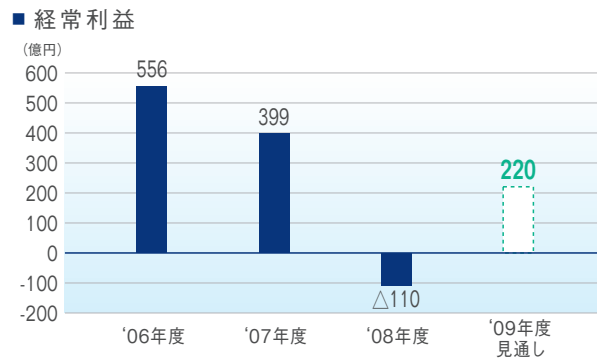
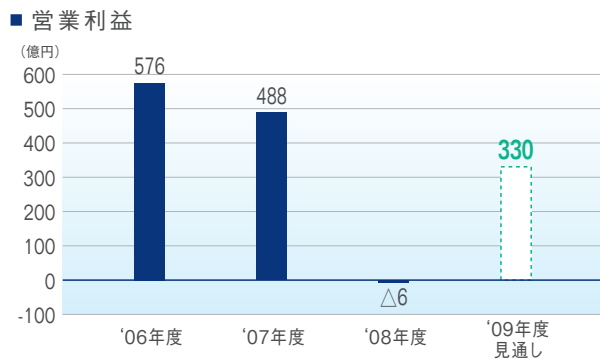
当社グループの受注高は前年同期比13.1%減の1兆

5,245億円でした。その内訳は建設事業88.2%、開発事業等11.8%です。

売上高は前年同期比4.1%減の1兆6,411億円でした。その内訳は建設事業89.4%、開発事業等10.6%です。

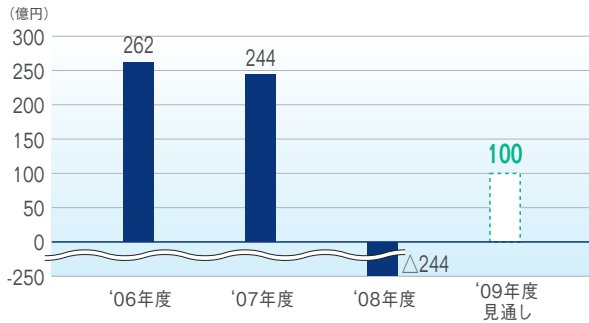
損益については、営業損益は当社の海外土木事業における採算悪化および有楽土地株の業績悪化により6億円の損失となりました。また、経常損益は円高の進行による為替差損の発生に伴い営業外損益が悪化したことから110億円の損失となりました。

当期純損益は不動産デベロッパーの相次ぐ破綻を受けた損失処理、および株式市況の低迷に伴う投資有価証券評価損の計上により244億円の損失となり、遺憾ながらいずれも前期実績を下回りました。

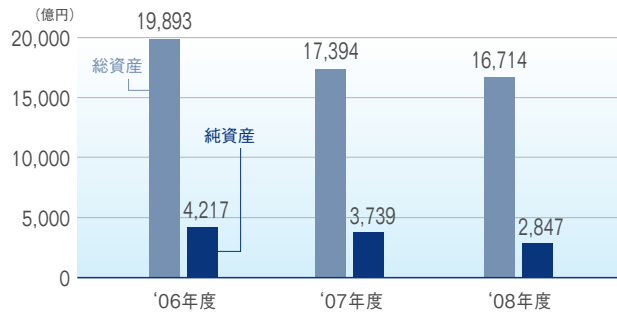




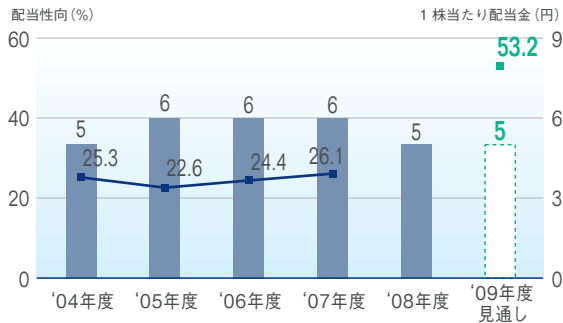
■ 当期純利益



■ 純資産・総資産



■ 配当性向・1株当たり配当金



■ 有利子負債・DEレシオ (DEレシオ=有利子負債÷純資産)



大成建設グループ

【グループビジョン】 建設事業を中核として、技術とノウハウにより豊かな価値を創造し提供することを通じて、広く社会に貢献していきます。

大成ロテック (株)	道路舗装工事、その他土木工事、舗装用アスファルト合材の製造・販売等	[東証一部上場] ※本年9月25日に、完全子会社化による上場廃止を予定
有楽土地 (株)	不動産の分譲・賃貸・斡旋・鑑定・コンサルティング、保険代理業	[東証一部上場]
大成ユーレック (株)	集合住宅の企画・設計・施工、リニューアル工事の企画・設計・施工、コンクリート部材の供給	
大成設備 (株)	空調・衛生・電気他設備工事	
大成サービス (株)	ビル・マンション等の管理、警備等	
大成建設ハウジング (株)	コンクリート住宅「パルコン」ほかの設計・施工・販売、マンション・戸建住宅のリフォーム	
成和リニューアルワークス (株)	建設・産業機械の製作・販売、土木建築の基礎工事等	
大成コンストラクション	米国における建設工事全般	

■ ■ ■ ■ ■ 受注・完成工事ご報告

主な完成工事のご紹介

CONSTRUCTION COMPLETED



▲ 筑波新棟建設工事
(茨城県)
発注者:アステラス製薬(株)



▲ ジブチ パレスケンピンスキーホテル新築工事
(ジブチ共和国)
発注者:ナキール社



▲ 第二京阪道路小路トンネル工事
(大阪府)
発注者:西日本高速道路(株) 関西支社
※当工事は、第二京阪道路小路トンネル(その2)工事を
受注し、現在引き続き施工中です。



◀ 富士見二丁目北部地区第一種市街地
再開発事業ビル新築工事(仮称)
(東京都)
発注者:富士見二丁目北部地区市街地再開発組合



▲ 白屋地区地すべり対策工事
(奈良県)
発注者:近畿地方整備局

主な受注工事のご紹介

CONTRACTS RECEIVED

工事名称	場 所	発注者
丸の内2丁目計画(仮称) 新築工事	東京都	郵便局(株)
西新宿八丁目成子地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事及び公共施設工事	東京都	西新宿八丁目成子地区市街地 再開発組合
愛媛県立中央病院整備運営事業のうち建設業務	愛媛県	愛媛ホスピタルパートナーズ(株)
(仮称)東京国際エアカーゴターミナル新築工事	東京都	東京国際エアカーゴターミナル(株)
中央環状品川線シールドトンネル工事-2	東京都	東京都

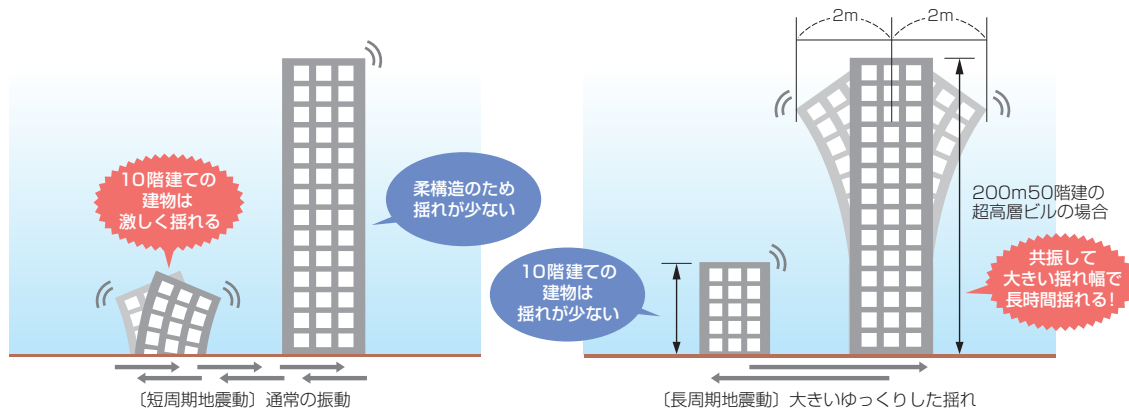
既存の超高層ビルを 耐震バリューアップする 「T-RESPO構法」で 国内初の受注

都市部に建ち並ぶ超高層ビル。地震国と言われるわが国では、長周期地震動（ゆっくりと大きく、長く続く揺れ）が大規模構造物に与える被害を低

減していく取り組みが進んでいます。阪神・淡路大震災を経て、特に2000年以降はほとんどの超高層ビルの新築に際し、ダンパー等による長周期地震動対策が施されるようになりましたが、それ以前に建てられた超高層ビルの多くにはそうした技術が導入されていないため、地震発生時の上層階では大きな揺れによる被害が発生する懸念があります。

超高層ビルと長周期地震動

地震の発生時にはさまざまな周期を持つ揺れが生じます。1秒以下の短い周期による揺れはエネルギーが大きいものの、比較的早く減衰していきます。一方、長い周期の揺れ（長周期地震動）は減衰せずに遠方まで伝わる特性を持ちますが、そのエネルギーは小さく、建物を揺らすほどの力はないと考えられていました。しかし、近年の研究によって、長周期地震動による揺れが地盤と共振して伝わり、さらに地震そのものの揺れと超高層ビルの揺れが共振しやすいため、超高層ビルに多大な影響を与えることが判明しました。



大成建設は、既存の超高層ビルに対して耐震バリューアップ工事を施す「T-RESPO構法」を開発しました。この構法は、建物の中間階層に軸力制御オイルダンパーとV字ブレース（補強用斜材）を設置することで耐震性能を高めることができるもの。柱や梁への圧着工法なので、火気をとまなう溶接作業がなく、設置する柱・梁自体の補強工事も不要です。建物を使用したまま安全に低コストで設置を進めることができる点は、T-RESPO構法の導入による大きなメリットです。

そしてこの度、大成建設は本社が入居する「新宿センタービル」の耐震工事を受注し、既存超高層ビルを耐震バリューアップする国内初の事例として、T-RESPO構法によるダンパー設置を昨年10月から進めています。

設置するダンパーは、中間階層の24フロアに各12台、合計288台。全て夜間に作業しており、取り付けの開口部を保護した後に仮囲いを設け、ベースプレートやブレース、ダンパーを搬入して施工、という手順で実施。工事完了は今年7月を目指しています。

現在、国内には2000年以前に建設された長周期地震動の影響を受けやすい超高層ビルが、高さ



新宿センタービルの設置事例

150m以上の物件だけでも50棟以上あります。これらについては人命保護はもちろん、事業継続計画（BCP）の観点からも地震対策を求める声が高まっており、大成建設では新たなビジネスチャンスとしてT-RESPO構法の導入を働きかけていく考えです。新宿センタービルの耐震バリューアップの工事記録DVDも作成し、今後、積極的な提案を図ってまいります。

砂漠の国の 国家的プロジェクト 新ドーハ国際空港 旅客ターミナルビルの進捗

石油・天然ガス事業により急速な発展を遂げる中東のカタール国。大規模な都市開発が計画され、世界不況を尻目に自国資金を原資とするビッグプロジェクトが多数進行中です。首都ドーハでは目下、アラビア湾（ペルシャ湾）を埋め立てて新ドーハ国際空港の建設が進められており、大成建設はその中核となる旅客ターミナルビルをトルコ企業とのJVによって建設中です。

この旅客ターミナルビルは、RC造およびS造5階建て・延床面積49万㎡、美しい曲線を描く鉄骨アーチ柱が銀色のウェーブ型屋根を支える、モダンでユニークな構造が特徴です。現在は、1期工事の躯体工事がほぼ完了し、屋根やカーテンウォールなどの外装工事が進行中。併行して2期工事もスタートし、鉄骨工事を主体に進めています。

約7万tにもおよぶ鉄骨材をはじめ、莫大な量の資材を要するこのプロジェクト。しか

し、そのほとんどを輸入により調達するため、数カ月前倒しした資材発注が必要です。また、作業所で働くスタッフおよびワーカー約5,000名の国籍も25カ国にわたり、各国の文化・習慣を尊重したマネジメントが求められます。現場では、これらのさまざまな条件に対応すべく、流動的な資材納期と複雑な工程管理を常にモニタリングしながら、慎重にプロジェクトを進行させています。

2004年に約74万人だったカタール国の人口は、この4年間で約140万人へと倍増しました。予測される旅客数増加への対応が急がれるとともに、中東におけるハブ空港としての地位確立に向けて、当プロジェクトに対する現地の期待は大きくふくらんでいます。



完成予想図

これからの 病院PFIの姿を目指して 愛媛県立中央病院の 整備運営事業に着手

大成建設を代表とするグループは、自治体病院として中・四国最大規模を誇る総合医療センター「愛媛県立中央病院」の整備運営事業を総合評価一般競争入札にて落札し、2008年12月に事業契約を締結しました。

このプロジェクトは、公共と民間のパートナーシップにより、自治体病院における経営の効率化とサービスの向上を図る病院PFI事業です。医療行為以外の業務を民間に委託し、その知識や経験を生かした効率的・効果的な病院運営を図るこの手法は、現在、多くの公立病院で導入が検討されています。

大成建設はSPC（特別目的会社）「愛媛ホスピタルパートナーズ株式会社」の親会社として、マネジメント力や事業推進力を生かし、県や病院との緊密な連携に基づいて整備運営プロジェクトを統括します。SPCの役割は、施設的设计・建設、維持管理および医療関連サービスの提供に限定され、医療行為には関与しないため、その範疇でのリスクを負うことはあ

りません。しかし、プロジェクト全体を統括していく上で、病院・医療に関するさまざまなノウハウや高度なマネジメント力が必須となります。

当プロジェクトの事業期間は、2033年3月末までと非常に長期にわたります。現在は、老朽化が進んだ旧施設を順次解体しながら、新しい病院の設計作業を進めています。

大成建設では、「人々の安心の拠り所」となる病院をつくり上げ、地域の方々に喜んでいただけるサービスを実現するとともに、当プロジェクトを病院PFI事業成功のモデルケースとして成立させてまいりたいと考えています。

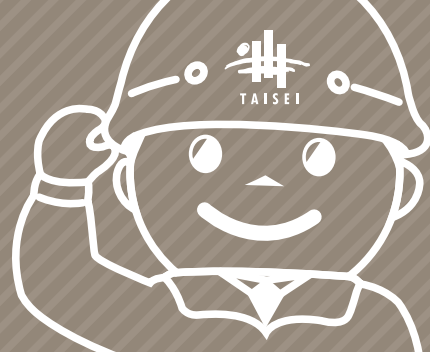


デザインコンセプトにおける4つのポイント

- ①医療機能を最大限に発揮できる病院
- ②変化に強い病院
- ③災害に強い病院
- ④環境に強い病院

大いに成るほど！

「素朴なギモン」



👉 トンネルの照明、どこも同じ明るさ？

トンネルの中の照明は、入ってから出るまでずっと同じ明るさなのでしょうか。

私たち現代人は、昔の人々と比べると、さまざまな照明設備の発達などによって、まわりの明暗が頻繁に変化する環境にいます。

月明かりのわずか0.1ルクスという暗さから、晴れた日の昼間の十萬ルクスという明るさにまで順応できる能力を持っている、私たちの目。そんなすぐれた順応力を持っているにもかかわらず、映画館に入ったとき、暗がりにほんの鼻先すら見えないで手探りしたという経験が、あなたにもあるはず。なのに映画館から出るときは、



まぶしいくらいの光でも、ほとんど時間がかからないでまわりの明るさに慣れることができます。私たちの目は、目の働きがきちんと元の状態に戻るのに、暗いところから明るいところへは1分もかからなくても、明るいところから暗いところへの場合には二十倍以上も時間がかかってしまうのです。

この映画館と同じような現象は、身近なところでも起こります。それが、トンネルです。晴れた日のドライブで急にトンネルに入ったとき、極端に暗くなって、たとえ一瞬とはいえ目が見えにくい状態になっては事故につながりかねません。そこで両方向からクルマが出入りする一般のトンネルでは、トンネルの出入口側と中央部とで、照明の明るさを違えているのです。明るいところから暗いところへ入るトンネルの入口側はトンネル内の照明の間隔を短くして明るく、そして中央部に行くに従って間隔を開けて暗くし、また出口に向かって明るくしているのです。

トンネルは、経済性や効率だけでなく、ちゃんと人間の生理まで考えてつくられているんですね。

国を挙げて取り組んだ大正末期の名建築

聖徳記念絵画館



イチョウ並木を従えた荘厳なドーム型建築

聖徳記念絵画館は、明治天皇・昭憲皇太后両陛下の御事蹟を描いた壁画80枚を収めるため、大正15(1926)年、神宮外苑(東京都新宿区)の一角に建てられました。それらの絵画の画題選定には、大正5年から11年(1916~1922年)までの長い時間が費やされ、「大政奉還」「江戸開城談判」といった80点の画題が、日本画・西洋画の一流画家によって描かれることになりました。しかし、収蔵される作品が全て完成されるまでにはさらなる時間がかかり、昭和11(1936)年までの歳月を要しました。

現在、青山通りから聖徳記念絵画館を望むと、外苑中央広場通りまで300mにわたって植えられたイチョウ並木の中心に、その荘厳なドーム型建築を見ることができます。

震災で工事を一時中断し、被災者を収容

大成建設の前身である大倉土木が絵画館の建築工事を開始したのは大正10(1921)年。翌々年には関東大震災が発生し、工事を一時中断。足場を撤去してバラックが建てられ、被災者の避難所として約

6,400人を収容しました。その後、大正14(1925)年から内部仕上げ工事に取りかかり、翌年に竣工を迎えました。

大倉土木は、絵画館の主体工事と内部仕上げ工事を請け負いましたが、資材は全て政府から支給されました。工事に使用された砂利は官営の相模川直営採取場から、セメントは当時の大財閥企業である浅野セメント、鋼材は官営の八幡製鐵所から廉価で供給されました。さらに輸送費においても、鉄道・汽船ともに運賃が半額になるという便宜が図られるなど、この絵画館の建築が重要な国家事業であったことが窺えます。



■ 設計は、一般公募156圖案から小林正紹氏が当選。審査員には、古市公威氏、伊東忠太氏らが名を連ねた



株式の状況

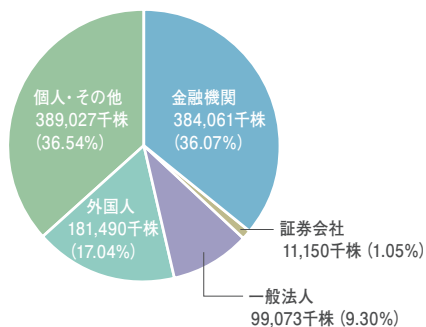
発行可能株式総数 **2,200,000,000** 株

発行済株式の総数 **1,064,802,821** 株

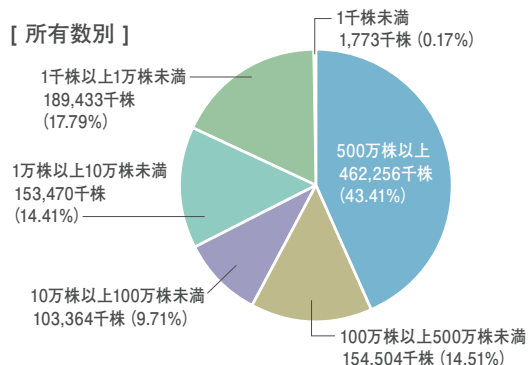
当期末株主数 **102,554** 名

株式分布状況

[所有者別]



[所有数別]



株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	71,364	6.70
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口4G)	64,324	6.04
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	52,444	4.93
大成建設社員持株会	30,091	2.83
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口4)	26,753	2.51
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.18
大成建設取引先持株会	23,097	2.17
三菱地所株式会社	17,604	1.65
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.51
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.48

ホームページのご案内

当社ホームページは、「サービス・ソリューション」「実績紹介」「会社情報」「投資家の皆様へ」の各ページにおいて、当社に関するさまざまな情報を発信しております。



(2009年5月15日現在)



IRサイトのご紹介

「投資家の皆様へ」のコーナーでは、株主の皆様にあてた社長のメッセージや、当社の経営方針などに関するIR情報をご覧いただけます。また、決算短信などの決算関連資料や貸借対照表・損益計算書など、当社の業績にかかわる詳細な財務諸表に関するデータも、ご参照ください。



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
- 上場証券取引所 東京・大阪・名古屋
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座へ記録されている場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引先の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。また、電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は上記まで至急ご連絡ください。

- 単元未満株式の買取・買増 手数料として、株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額およびこれに係る消費税額等の合計額がかかります。
- 公告の方法 電子公告
電子公告掲載URL (<http://www.taisei.co.jp/>)
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。
- 配当金のお支払いに関する通知書について 配当金を配当金領収書にて受け取られる株主様には、確定申告手続きの添付資料用に「支払通知書」を送付いたします(送付時期:年末年始)。なお、配当金を口座振込指定により受け取られる場合は、従来通り「配当金計算書」が確定申告手続きの際の添付資料としてご使用いただけます。
- 株主様のご住所・お名前等に使用されている文字について 株券電子化に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)指定外の漢字等(いわゆる「外字」)が含まれておりますと、株主様へのご送付物の宛先等がほふりの指定した文字またはカタカナに変換されている場合がございますのでご了承ください。

【お知らせ】

配当金のお支払いについて

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認をお願いします。

(お支払期限)

・147期中間配当金：2009年12月7日・147期期末配当金：2010年6月28日

地図に残る仕事。

大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111